

国立国会図書館デジタルアーカイブポータルの概要

一我が国のデジタルコレクションの窓口を目指して一

2007年10月11日 国立国会図書館 関西館

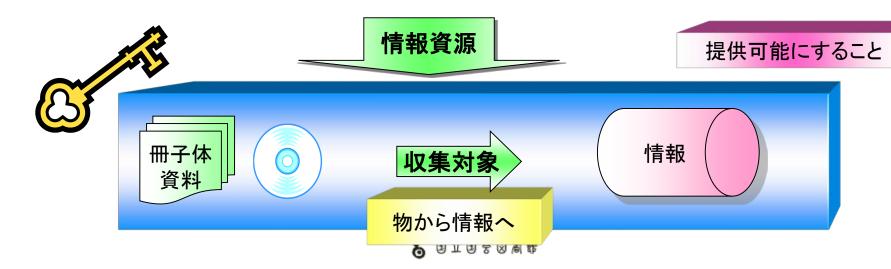
国立国会図書館(NDL)の役割

国立国会図書館 ビジョン 2004 より

国民の知的活動の成果を、印刷物からデジタル情報にいたるまで広く収集し、 国民共有の情報資源を構築する

収集・保存すること

広く国民に対し図書館サービスを提供し、現在及び将来にわたり、情報資源 へのアクセスを保証する



国立国会図書館電子図書館中期計画2004 電子図書館サービスの目標

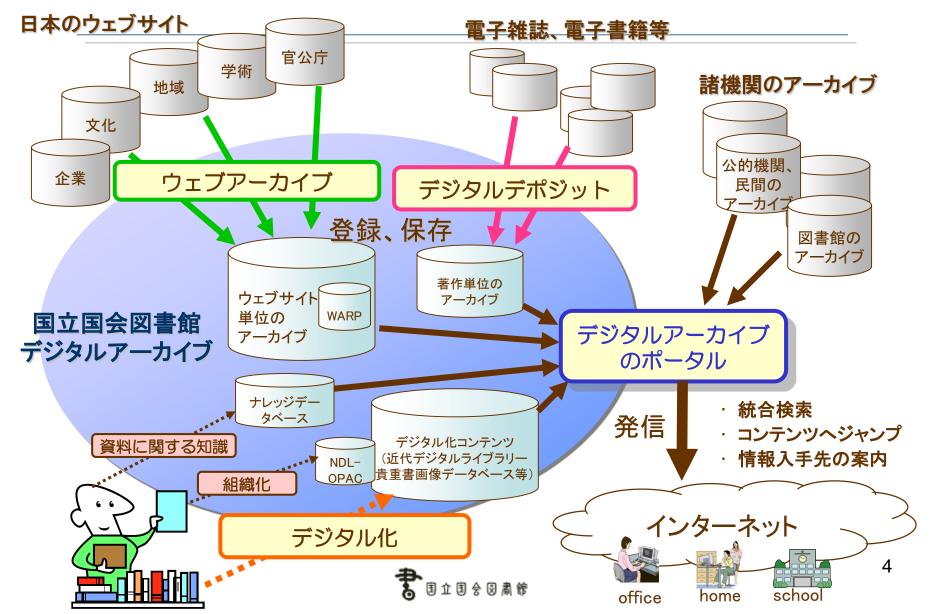
http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/elib_plan2004.html

- ・国のデジタルアーカイブの重要拠点となる
- ・日本のデジタル情報全体へのナビゲーション総合サイトを構築する

1 デジタル・アーカイブの構築

- NDL所蔵の資料の電子化の推進
 - 図書等のデジタル化
- ・ インターネット情報資源の収集と保存
 - Webアーカイブとデジタル・デポジット
 - 長期保存対策
 - 2 情報資源に関する情報の充実
 - ・レファレンス情報、解題情報、統制語辞書類
 - ③ デジタル・アーカイブのポータル機能

「電子図書館サービス」の目標イメージ



デジタルアーカイブポータルの目的

当館が保有しているコンテンツに加えて、国の機関、民間に関わらず、広く有用なコンテンツおよびサービスへ 案内

ワンストップ ナビゲーション

- •1つの検索窓から多数のアーカイブを統合的に 検索
- •デジタル情報はその閲覧まで、紙資料はその入 手先までナビゲーション

カスタマイゼーション

・様々な利用者、利用形態でのニーズに対応

ポータルの構築と公開

- ・国立国会図書館デジタルアーカイブポータル(通称:PORTA)
 - PORTA(ポルタ)はラテン語で「門」の意味
 - 「デジタルアーカイブへの入り口」をイメージ
- ・プロトタイプシステムでの検証成果を得て、
 - 本格システムとして稼働

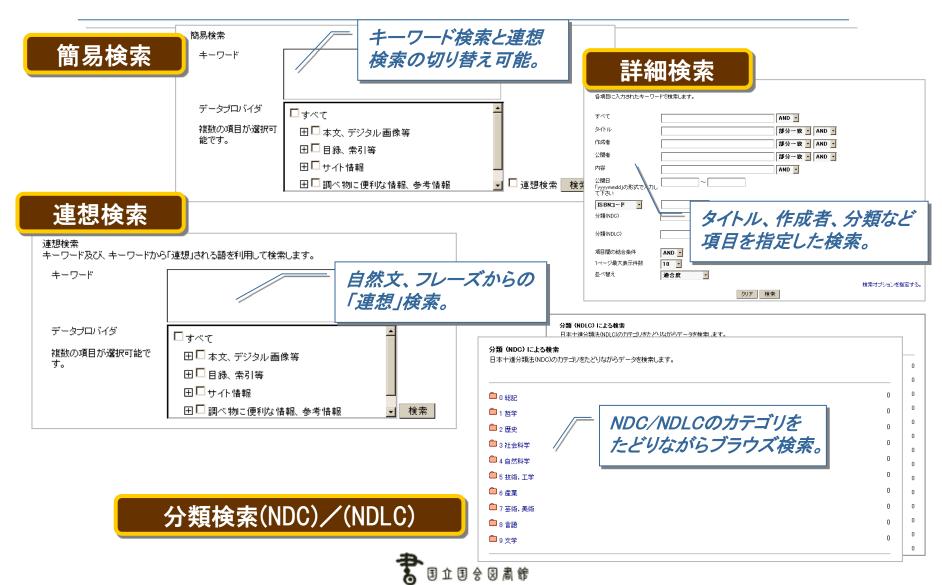


機能概要(2007年10月現在)

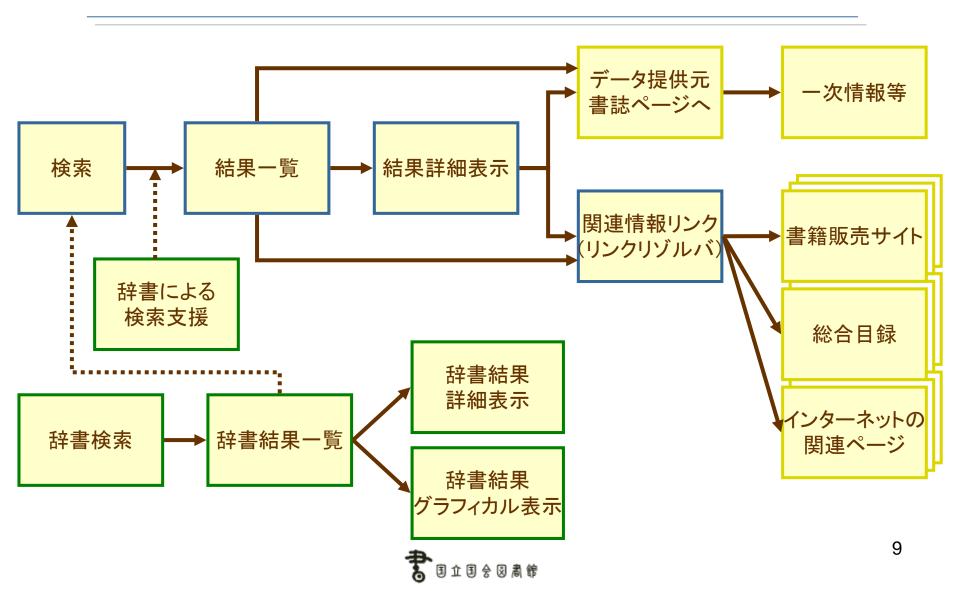
- ・検索対象:20種類
 - デジタル化された資料、貴重書、書誌データ、学術情報、 記事・論文、インターネットのサイト情報など
- ・メタデータ件数:800万件以上
- ・日本語/英語画面あり
- ・検索方法:
 - メタデータの検索:キーワード検索、連想検索、分類検索
 - 辞書の検索:辞書検索、辞書による検索支援機能



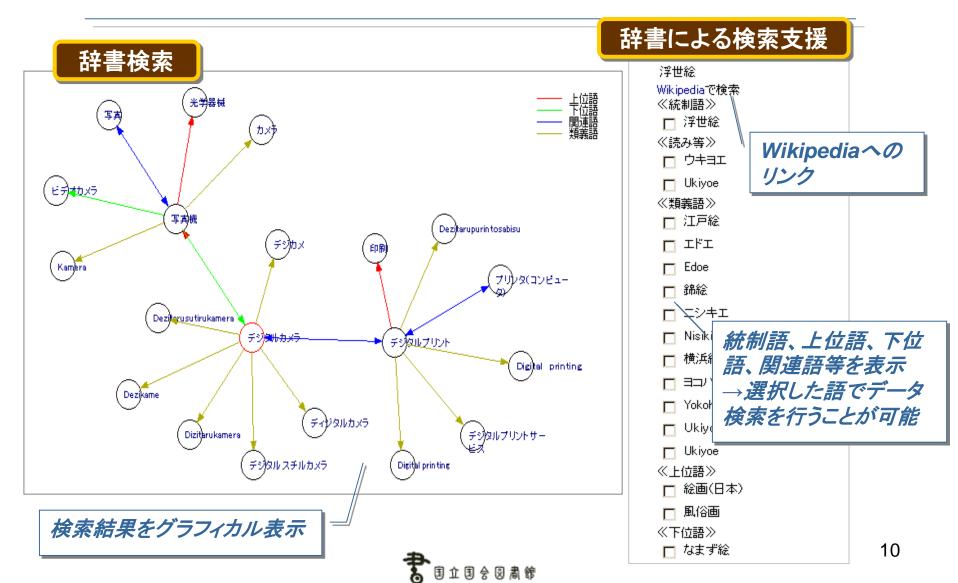
様々な検索方法を提供



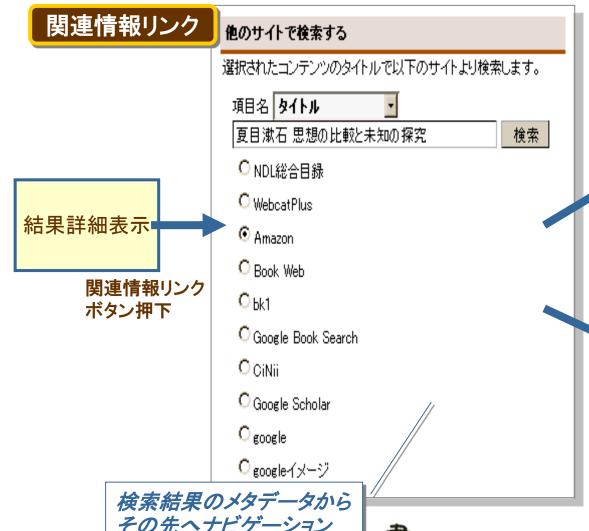
検索・ナビゲーションの流れ



辞書検索機能と検索支援



関連情報へのナビゲーション





カスタマイゼーション機能

- ・ユーザ登録→個別ユーザに合わせたカスタ マイズが可能
 - ユーザグループの選択
 - ブロックの配置
 - ダイレクトメニューの編集
 - デフォルトの検索対象の設定
 - デザインの設定
 - お気に入りの編集





PORTAの検索対象になる

・<u>連携の共通仕様</u>を実装する:ポータルが 様々なシステムと連携するための仕様



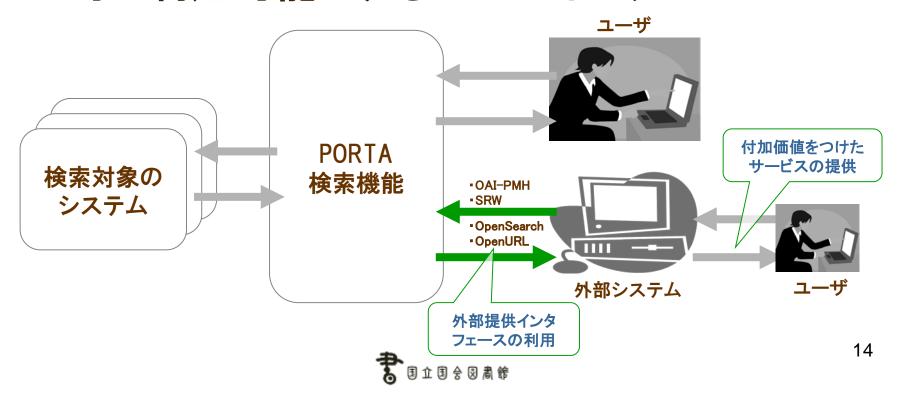
連携のための共通仕様

データプロバイダディレクトリに登録する:検索対象候補のシステムがサービスの情報を登録するリポジトリ



PORTAの検索機能を利用する

・ <u>外部提供インタフェース</u>を利用する:外部のシステムからPORTAの検索機能をシステム的に利用可能とするためのインタフェース



今後のPORTAは?

- ・共通仕様の普及→データプロバイダ(コンテンツを機械的に提供可能なシステム)となるための呼びかけを行う
- ・検索対象コンテンツを順次増やしていく
- ・NDLデジタルアーカイブシステムと連携・統合する
- ・国のデジタルコレクションをワンストップで提供する

